

基本問題 1

- ① 710年に唐の都にならって、奈良に都が造られた。この都を何というか。
- ② ①の都は、唐の都にならって造られた。この唐の都は何とよばれるか。
- ③ 奈良に都があった70年余りの間を何時代というか。
- ④ ①に設けられた市では、各地から都に送られてきた産物が売買され、そのために唐にならって貨幣も発行された。708年からつくられたといわれる日本で最初の流通貨幣は何とよばれるか。
- ⑤ 地方は多くの国に区分された。そして、その国々には国府が置かれ、中央の貴族が地方官として派遣された。このように国ごとに置かれた地方官を何というか。
- ⑥ 奈良時代、戸籍に登録された6歳以上のすべての男女に口分田が与えられ、その人が死ぬと、口分田を国に返す法律が定められた。この法律を何というか。
- ⑦ 農民には税が課せられた。その中で、口分田で収穫された稲の収穫量の約3%を納める税は何とよばれるか。
- ⑧ 一般の成年男子は、税のほかにも兵役が課せられた。その兵士の中には、九州北部の防衛のために九州地方へ送られた。このような兵士を何というか。
- ⑨ 人口の増加などで口分田が足りなくなったため、743年に人々に開墾をすすめるためのある法律がつけられた。新しく開墾した土地であれば、開墾した者が永久に土地を所有してよいというこの法律は何とよばれるか。
- ⑩ 貴族や寺社は、さかんに開墾を行う一方で、農民が開墾した土地を買い取るなどして私有地を広げていった。このような私有地はやがて何とよばれるようになったか。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

発展問題 1

表1 農民の負担

A	稲の収穫量の約3%
B	絹、糸、郷土の特産物など
C	布 (労役のかわり)
雑徭	地方での労役
兵役	衛士、防人

表2

昔の国名	現在の県名	内容
紀伊国	和歌山県	磯鯛
近江国	滋賀県	乳製品
伊豆国	静岡県	鯉
若狭国	福井県	塩

資料1 山上憶良「貧窮問答歌」

かまどには火の気がなく、米を蒸す道具にはクモの巣がはってしまい、長い間ご飯もたいていない・・・(中略)・・・この世の中はつらく、身も細るほど耐え難く思うけれど、鳥ではないから飛んで行ってしまいうこともできない・・・

- ① 平城京は、その土地の区画においてどのような特徴があったか、簡潔に書きなさい。
- ② 表1のA～Cに入る語句を書きなさい。また、逃亡する農民が多かった理由を簡潔に書きなさい。
- ③ 表2は、表1Bの各地方から納められた特産物の例である。これらの記録が残っている木の荷札を何というか。
- ④ 資料1から、当時の農民の暮らしぶりはどのようなものであったと考えられるか。簡潔に書きなさい。

①	
②	A B C 理由
③	④

基本問題 2

- ① 724年に即位した、仏教の力で国を治めようとした天皇は誰か。
- ② ①の天皇がいた時代に栄えた、仏教と唐の文化の影響を強く受けた文化は何とよばれるか。
- ③ ①の天皇と、光明皇后が都（奈良）に建てた寺は何とよばれるか。
- ④ ①の天皇が国ごとにつくらせた寺は何とよばれるか、2つ書きなさい。
- ⑤ ①の天皇にゆかりのある、遣唐使が持ち帰った道具や楽器がおさめられている建物を何というか。
- ⑥ ⑤の建物に見られる、柱を用いずに木材を組み上げて建てるこの建築様式を何というか。
- ⑦ 中国の僧で、日本に渡ろうとして何度も遭難し、盲目になりながらも来日を果たし、仏教の教えを広めた人物はだれか。
- ⑧ ⑦の人物によって759年に創建された、現在の奈良市にある寺を何というか。
- ⑨ 奈良時代に書かれた、神話や伝承・記録などをもとにまとめた書物を何というか、2つ書きなさい。
- ⑩ 天皇や貴族だけでなく、防人や農民の歌などがおさめられた現存する日本最古の和歌集を何というか。
- ⑪ 地方の国ごとに、自然、産物、伝説などを記した書物を何というか。
- ⑫ 橋、道、ため池、用水路をつくるなどの社会事業を行いながら、民衆の間に仏教を広めた僧はだれか。

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	

発展問題 2

- ① 聖武天皇が、国分寺（国分尼寺）や東大寺を建てさせ、さらに大仏を造らせるといった政策の目的を書きなさい。
- ② 正倉院におさめられている宝物から、唐以外にどのような地域から伝わってきたことが分かるか。「シルクロード」という語句を入れて記述しなさい。
- ③ 日本最古の和歌集である万葉集に多く用いられている文字は何とよばれるか。
- ④ 万葉集におさめられている歌を歌った有名な歌人を2人書きなさい。
- ⑤ 2019年に、万葉集の中の資料2の部分から定められた元号を何というか。
- ⑥ 天平文化の特徴を2つ、簡潔に書きなさい。

資料 2

初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を抜き、蘭は珮後の香を薫らす

①							
②							
③		④				⑤	
⑥							